

特集 I - ②

知ってるようで、
知らない施設を
訪ねる

雪を楽しむ学ぶ 積雪地域災害 研究センター

「数値よりも、
現場から知る災害」



雪との関わりから生まれた文化として、雪形はまさに自然がつくり出した芸術と言えましょう。

「積雪地域災害研究センター」は、何を
しているところですか。

雪が積もる地域の災害全般が研究対象

「積雪地域災害研究センター」と、名称の頭に“積雪”がついていますが、雪に関することだけを扱っているわけではありません。雪が積もる地域の災害全般、地盤災害・土砂災害・水災害・雪氷災害を手がけています。その中でも、私は雪氷に関する災害の研究を専門にしています。

この世界に足を踏み入れられた動機を
お聞かせ下さい。

雪の美しさと裏側に秘められた破壊力に
魅了されて

子どもの頃、ある朝目覚めると一面の銀世界が広がっていました。積もる量に関係なく、雪があるのとないのとでは景色が一変します。その時、もっと雪の美しさを知りたいと思いました。その後、アメリカのカメラマンが、自らの命と引き換えにして撮った雪崩の映像を観ました。

雪は美しい反面、その裏側にはとてつもない破壊力を秘めています。その得体の知れない面白さに魅せられました。それが雪氷研究の世界に入るきっかけとなりました。

雪崩の歴史についてお話し下さい。

新潟県は全国一の雪崩災害発生地域

新潟県は、全国都道府県の中で一番多く雪崩が発生してきました。過去100年間の



現代はコンピュータのシミュレーションに走る傾向があります。確かにデータはきれいに表れます。しかし、自然の情報はあくまでも現場にあるという持論を持っています。



和泉 薫プロフィール

和泉 薫
Kaoru IZUMI

積雪地域災害研究センター / 地水系保全研究分野助教授

1950年9月生まれ。北海道大学理学部卒業。理学博士。

専門分野：雪氷学、自然災害科学。